

「APUでの履修について」

(1) 履修の仕組みについて

APU では、1 年間で 2 つのセメスター、4 つのクォーター、2 つのセッションに分けて授業を開講しています。

●春セメスター期

- ・第 1 クォーター：4 月・5 月
- ・第 2 クォーター：6 月・7 月
- ・夏セッション：8 月・9 月

●秋セメスター期

- ・第 1 クォーター：10 月・11 月
- ・第 2 クォーター：12 月・1 月
- ・冬セッション：2 月・3 月

※ 3～4 月の履修登録時期に春セメスター（第 1 クォーター、第 2 クォーター、夏セッション）の履修科目登録を行います。

※ 9～10 月の履修登録時期に秋セメスター（第 1 クォーター、第 2 クォーター、冬セッション）の履修科目登録を行います。

<講義科目>

原則、クォーターで開講します。2 単位の講義科目の場合、授業は週に 2 回行われ、2 ヶ月間で完結します。

<言語科目>

セメスターで開講します。2 単位の場合は、4 ヶ月間、週に 2 回の授業、4 単位の場合は、4 ヶ月間、週に 4 回の授業があります。

<演習科目>

セメスターで開講します。2 単位の場合は、4 ヶ月間、週に 1 回の授業があります。

(2) APU での受講登録、成績評価

<登録単位数>

APU で受講登録できる単位数は、春学期・秋学期派遣の場合は、所属学部・回生の年度内で受講登録できる上限単位数の半数、1 年間派遣の場合は、所属学部・回生の年度内で受講登録できる上限単位数が目安となります。

<成績評価>

① 単位認定

APU で受講した授業は、本人による単位認定申請を受けて、立命館大学での所定の基準に基づいて各学部教授会において承認されれば、立命館大学の科目として単位認定されます。（必ずしも申請した全ての科目の単位が認定されるとは限りません）。

同一内容と認められる科目については、立命館大学の設置科目の単位として認定（T）します。ただし、既にその科目を立命館大学で修得している場合は、単位認定できません。

同一内容と認められない科目については、教養科目（基礎科目、基礎教育科目）、専門科目（演習含む）とも、それぞれ「APU 交流科目」の単位として認定（T）します。なお、単位認定は留学終了後に行います（RU での申請が必要です）。

※総合心理学部の学生は「APU 交流科目」としての単位認定はできません。

認定申請時には、APU Campusmate の成績照会（画面）の画面コピーが必要となります。

APU交流科目とは？

- ・「APU 交流科目」：教養科目として読み替え
- ・「APU 交流科目（教養または基礎）」：教養科目として読み替え
- ・「APU 交流科目（専門）」：専門科目として読み替えますが、自コース認定か他コース認定かについては科目内容によって個別に判断されます

→ 学部によって、読み替えの基準・ルールが異なりますので、学部事務室の成績担当者に確認してください。

② 単位認定の上限

卒業までに本学以外（大学コンソーシアム京都単位互換科目、立命館アジア太平洋大学、

海外留学、入学前単位認定など)で取得できる単位数の上限は 60 単位です(ただし、編入学、転学等を除く)。学部によって単位が異なる場合がありますので、履修要項で確認してください。

<受講登録>

① 受講登録

WEB にて各自で受講登録を行ないます。詳しくは APU 事務局によるガイダンスにて説明をします。

【シラバス・時間割の掲載場所】

シラバス検索：<https://portal2.apu.ac.jp/campus/slbsskgr.do>

時間割：<http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0186.html>

※ 2021 年度派遣の方は「2017 年度カリキュラム」を履修します。

※ 2021 年 3 月上旬までは 2020 年度の情報しか閲覧できません。

② 開講言語

講義科目名の後が「J」で始まるクラスは日本語開講、「E」で始まるクラスは英語開講クラスになります。300 番台(3 回生配当)以上の英語開講科目は、受講者の言語能力レベルが、TOEFL ITP®Test 480 点以上に相当していることを前提に行われます。

③ 配当回生・前提科目

RU 交流学生は、科目によって定められている「配当回生」や「前提科目」は適応されません。2 回生であっても、300 番台科目(3 回生配当)が履修できますが、必ずシラバスを確認し、自分のレベルに適した科目を登録することを推奨します。

④ 英語の言語クラス

原則として、英語科目の履修をすることはできません。ただし、以下の基準を満たしている場合のみ、スタンダードトラックの専修英語科目(「英語ビジネス・ライティング」「英語ビジネス・プレゼンテーション」「英語ディスカッションとディベート」「英語プロジェクト 1」「ジャーナリズムのための英語」)の受講が可能です。履修を希望する場合は、以下のいずれかに該当する言語能力を証明できる書類を提出して下さい。

- ・ TOEFL iBT 61 以上
- ・ TOEFL PBT 500 以上
- ・ TOEFL CBT 173 以上
- ・ TOEIC L330/R325, S138/W134 以上
- ・ IELTS 5.5 以上
- ・ PTE Academic 50 以上

⑤ アジア太平洋言語の受講

APU では、英語・日本語以外の第 2 言語として、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、マレー語・インドネシア語、スペイン語の 6 言語を開講しています。レベルは、I (初級)、II (初中級)、III (中上級)、IV (上級)があります。4 単位科目の場合は週に 4 回、2 単位科目の場合は週 2 回の授業が行われます。レベルによって難易度が異なり、ひとつ前のレベルの単位修得、もしくは履修免除を受けていなければ履修できません。

AP 言語の履修を希望する場合、TOEFL iBT 37、PBT 420、TOEIC 360 点以上のスコアが必要です。AP 言語の履修を希望する方は、「アジア太平洋言語履修希望調査表」を提出して下さい。また、履修免除を希望する場合は、調査表に下記表に定める検定試験の合格証明書を添付して提出して下さい。資格試験のスコアがない場合は、言語学習方法や修得レベルの申告によって申請することができます。調査票提出後、APU で面接を行い、レベルを判断します。

授業科目	履修免除に必要な証明書
中国語 I	中国語検定試験準 4 級、実用中国語技能検定試験準 4 級、新 HSK1 級
中国語 II	中国語検定試験 4 級、実用中国語技能検定試験 4 級、新 HSK2 級
中国語 III	中国語検定試験 3 級、実用中国語技能検定試験 3 級、新 HSK3 級
韓国語 I	韓国語能力検定試験 1 級、「ハングル」能力検定試験 5 級
韓国語 II	韓国語能力検定試験 2 級、「ハングル」能力検定試験 4 級

韓国語Ⅲ	韓国語能力検定試験 3 級、「ハングル」能力検定試験 3 級
スペイン語Ⅰ	スペイン語技能検定 5 級
スペイン語Ⅱ	スペイン語技能検定 4 級
スペイン語Ⅲ	スペイン語技能検定 3 級

⑥ APU における演習科目の受講

【2 回生演習】

2 回生演習科目の APS 調査研究入門もしくは APS 基礎演習の受講を推奨します。必修ではありませんので、希望する場合は自分で WEB での履修登録を行ってください。事前の申請・手続きはありません。APM については、2 回生演習科目は開講されていません。

	日本語開講		英語開講	
	春semester	秋semester	春semester	秋semester
調査研究入門	○	×	×	○
基礎演習	○	○	○	○

*基礎演習は分野によっては、日本語開講が開講されないsemesterもあります。

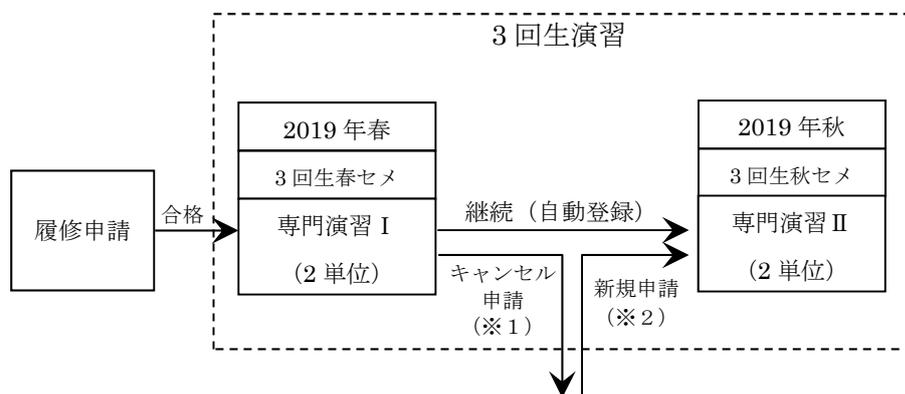
*上記は開講原則であり、開講semesterが変更となる場合もあります。

【3 回生演習】

3 回生の方は、希望する場合は「3 回生演習 (ゼミ)」を履修することができます。同科目は必修科目ではありませんが、大学院進学や日本国内での就職を考えている学生は、同科目の履修を通じて、専門学習の準備を始めることを勧めます。内容はゼミによって異なりますが、最終的な目標は「深い学習と討論により、テーマについての理解を深めること」です。ゼミでの学習や習得知識・経験を活かしながら、APU 留学後の履修計画を立てて行く事を勧めます。なお、APU での 3 回生演習はsemester (半年) ごとに完結します。

演習科目 (ゼミ) の履修の流れと単位

春派遣の場合は、下図の流れに従って、専門演習Ⅰと専門演習Ⅱの2科目 (合計4単位) をsemesterごとに履修します。



(※1) 1 年派遣の場合、次semesterでゼミの履修を希望しない場合は、キャンセル申請期間 (6 月下旬) にキャンセル申請を行ってください。キャンセル申請を行わなかった場合は、次のsemesterでも同じゼミクラスが自動で履修登録されます。

(※2) ゼミクラスを変更したい場合は、一旦キャンセル申請 (6 月下旬) をすると同時に、希望するゼミへ新規申請を行ってください。また、春semesterではゼミを履修せず、秋semesterから履修を開始することも可能です。

申請方法：

アカデミック・オフィスのウェブサイトに掲載される「受入可能クラス一覧(シラバス)」を確認し、希望するゼミの担当教員と事前に相談をしたうえで、アカデミック・オフィスに申請書を提出します。詳細は、派遣決定後のガイダンスで案内します。